

1/17

# 「渋谷区防災点検の日」に 区内一斉点検を行いました

渋谷区は、「渋谷区震災対策総合条例」により、毎年1月17日を「防災点検の日」と定め、その日を中心に区民と区は相互に協力し、防災体制および防災施設、備蓄品などの点検を行うとともに、点検を通じて地域、区、学校、防災関係機関、事業所などがそれぞれの役割を認識し、防災意識の向上を図っています。当日は、本部・避難所で各種点検のほか、機器の使用方法について確認しました。

## 本部

災害対策本部会議室において災害対策本部の各種点検を実施しました。



▲災害対策本部点検会議

## 避難所

防災設備・各種通信機器の設置場所と使用方法の確認を行いました。



▲上原小学校  
▲応急給水栓の点検

1/18

# 渋谷防災キャラバン2020を開催しました

「渋谷防災キャラバン」は、災害体験の学びなどを通じて身近な防災を考える防災イベントで、今年が初開催でした。区役所本庁舎1階エントランスや8階の会議室、14階の大集会室などを会場とし、災害対策本部体験ツアー、BOSAIブース、BOSAIトークステージなどを開催しました。

## BOSAIトークステージ



▲左からGAKU-MC氏、長谷部区長、巻誠一郎氏

## BOSAIブース



▲災害用伝言ダイヤルのブース

## 災害対策本部体験ツアー



BOSAIブースでは防災VR体験、親子ワークショップ、ペット防災や災害時の電気・ガス・トイレなどについて考えるブースなどが出展していました。

BOSAIトークステージでは、災害体験者や被災地支援を続けるゲストを招いてのトークステージをはじめとする多彩なプログラムを用意し、多くの参加者で賑わっていました。

区防災課災害対策推進係 ☎3463-4475 FAX5458-4923

## 区長コラム

渋谷区長 長谷部健



手洗いと  
咳エチケットで  
感染を予防  
しましょう

こんにちは、長谷部健です。

2020年が始まり、早くも1か月が過ぎました。今年渋谷区にとって、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催だけでなく、明治神宮が鎮座100年を迎える節目の年でもあります。また、開発が続く渋谷駅周辺は、この2020年に向けて加速度的に進んできました。ただ、現在進んでいる渋谷駅周辺の再開発が一区切りつくのは2027年以降となります。また、明治神宮鎮座100年を機として、西参道、北参道と周辺エリアの再整備を進めていきたいと考えています。玉川上水旧水路緑道プロジェクトについては、地域の皆さまの声や他の地域を研究した結果などを基に、この春には具体的な最初の計画をご提示できそうです。今年、「街の可能性を育みながら課題を解決する」というスタンスを強く意識していきます。

また、オリンピック・パラリンピックについては、「観るだけでなく参加する機会をより創出していきます。渋谷区は東京体育館、国立代々木競技場 新国立競技場(一部)を有する自治体であり、この恵まれた環境を生かして積極的に大会に関わっていきます。区内で開催される卓球、ハンドボール、陸上競技、車いすラグビー、パラ卓球、パラバドミントン、パラ陸上競技については、区を挙げて応援体制をつくっていきます。特にパラリンピック競技については、選手と交流する機会の創出や、大会終了後も国際大会の誘致を目指すなど、区に根付いていくよう取り組めます。さらに、パラリンピック競技の一つであるボッチャは誰もが楽しめるスポーツであることから、ボッチャ渋谷区民大会を開催したいと考えています。区内の拠点各施設にボッチャセットを用意していきますので、皆さまもぜひ初代チャンピオンを目指していただくとともに、ボッチャをきっかけにさまざまなパラリンピック競技に親しんでいただければと思います。

2月19日から始まる区議会定例会で審議される新年度予算案には、特別養護老人ホームの整備や子育てネウボラの充実、障がい者支援、教育ICT化の推進、スタートアップエコシステム拠点整備等を盛り込みました。2020年を新たなスタートにして、未来の可能性を育んでいくことを目指した予算案となっています。

最後になりますが、今年インフルエンザだけでなく新型コロナウイルスに関連した肺炎も心配です。区でも、国や都の動向を注視しつつ、対策本部を立ち上げ、対応を図っています。区民の皆さまも感染予防のため、咳エチケットや手洗い等をしっかりと行っていただくよう、お願い申し上げます。